

檀一雄・太宰治らが結成した「青春五月党」の集まり
昭和12年(1937) 写真提供: 日本近代文学館

分室特別展

「志と仲間たちと—文士たちの石神井、
美術家たちの練馬」

7月4日(土)～9月27日(日)

檀一雄・太宰治らが結成した「青春五月党」の集まり
昭和12年(1937) 写真提供: 日本近代文学館

ながら、石神井にひとつの文化圏が形成されまし
線沿線の作家の集まり「阿佐ヶ谷会」と行き来し
た。三宝寺池畔にかつてあった「石神井ホテル」
の作家が集まりました。
「石神井文士」という言葉もあるほどです。中央
真鍋呉夫、坂口安吾、五味康祐、庄野潤三など、
ながら、石神井にひとつの文化圏が形成されまし
た。三宝寺池畔にかつてあった「石神井ホテル」

昭和10年代、若い檀一雄や太宰治らが集った石
神井公園三宝寺池の「青春五月党」をはじめとし
て、石神井を愛した檀一雄の周辺には、戦後多く
の作家が集まりました。

「志と仲間たちと—文士たちの石神井、
美術家たちの練馬」
たつ紹介するのが、この展覧会です。
タイトルでは文士と美術家と分けていますが、
実のところは近接領域の文学と美術、人と人との
交流は、ポーターレスです。そこをとおさるお含
みおきの上、まずはひとつめ、「文士たちの石神井」
です。

練馬区内はどうでしょう? 「あればもう有名に
なってるよ!」 「そもそも都会ではなかったんだし!」
とお思いかもしれませんが、近現代の地域史には、
まだ知られていない部分がたくさんあります。
そんな、知られざる練馬区内の芸術の拠点をふ
たつ紹介するのが、この展覧会です。

都内には、芥川龍之介に代表される「田端文士
村」や北原白秋、三好達治、宇野千代らの「馬込
文士村」、洋画家や彫刻家が数多く住んだ「池袋モ
ンパルナス」と称されるアトリエ村など、有名な
「拠点」がいくつかあります。作家や美術家が集
まり、百花繚乱の一時代を築くことになる、地域
の特色です。

本展では、朝井閑右衛門、荻太郎、佐藤忠良、
新道繁、舟越保武らの作品や、当時書かれた文
章や地図などを展示します。
めまぐるしい時代の動きのなかで、まるでルネ
サンスのように一時代を彩った、練馬の芸術家の
拠点を、ご覧いただければ幸いです。

現在にはアトリエもなく、面影も薄くなりました
が、昭和9年から10年代の東京美術学校の画学生
を中心に、約30名の洋画家や彫刻家たちがそこに
集まって住みました。

「練馬アトリエ村」と呼ばれたようです。
「中新井三丁目」にあったアトリエ群が総称して
「練馬アトリエ村」と呼ばれたようです。

野の専門家が自主的に集まり、自治会や学校、役
所などともつながりながら「石神井談話会」とい
う文化芸術活動の運動体を作ります。
今のようにコミュニティカレッジなどもない
時代、いわば生涯学習のさきがけとして、さまざ
まな事業に取り組み、地元が多くが参加しました。
もうひとつご紹介する拠点は、練馬駅近くにあ
った、美術家たちが多く住んだ、通称「練馬アト
リエ村」です。練馬駅近くのアトリエの群と、旧
直後から昭和30年代にかけて集いました。檀の
「芸術家村構想」もあったとか。

文化人の多く住んだ石神井の地元からは、各分
野の専門家が自主的に集まり、自治会や学校、役
所などともつながりながら「石神井談話会」とい
う文化芸術活動の運動体を作ります。

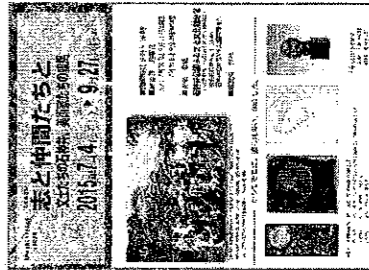
今のようにコミュニティカレッジなどもない
時代、いわば生涯学習のさきがけとして、さまざ
まな事業に取り組み、地元が多くが参加しました。

もうひとつご紹介する拠点は、練馬駅近くにあ
った、美術家たちが多く住んだ、通称「練馬アト
リエ村」です。練馬駅近くのアトリエの群と、旧
直後から昭和30年代にかけて集いました。檀の
「芸術家村構想」もあったとか。

7・8月のイベント情報

日付	時間	イベント名	会場	講師等	定員	対象	費用	申込
7/11(土)	14:00~15:40	展示解説 展示室およびオビオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	講師: 当室サポーター および 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
7/15(水)	14:00~15:40	展示解説 展示室およびオビオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	講師: 当室サポーター および 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
7/19(日)	14:00~15:30	講座 「和」を学ぶシリーズ第3回 「檀の技法「マクラメ」でつくるミサンガブレスレット」 世界各国で作られた紐結びを、現代のセンスで楽しみます。	石神井公園の風文化公園管理棟内 多目的室	講師: 徳田武志 (マクラメクリエイター)	30人	中学生以上	500円 当日払い	7/8(水) 〆切 ★
8/2(日)	14:00~15:30	展示解説 展示室およびオビオ展示室をご案内します。	石神井公園の風文化公園管理棟内 多目的室	講師: 中井嘉文 (通称「練馬アトリエ村」研究者)	100人	中学生以上	無料	なし
8/9(日)	14:00~15:40	展示解説 展示室およびオビオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	講師: 当室サポーター および 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
8/19(水)	14:00~15:40	展示解説 展示室およびオビオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	講師: 当室サポーター および 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
8/29(土)	10:00~12:00	夏休みワークショップ 「紐結びのオビオ展示室を体験しよう」 自分だけのオリジナル紐結びを作ります。	石神井公園の風文化公園管理棟内 多目的室	講師: 当室学芸員	30人	小学生	100円 当日払い	8/12(水) 〆切 ★

★の申込方法については石神井公園ふるさと文化館HPをご覧ください。
(http://www.uribun.or.jp/furuseto.html)



〇 展覧会情報

「志と仲間たちと—文士たちの石神井、美術家たちの練馬」

7月4日(土)～9月27日(日) 9:00～18:00

石神井公園ふるさと文化館分室 1階展示室
※毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)および
年末年始(12月29日～1月3日)は休室

〇 オビオ展示室メンテナンス(音出し)情報

毎週火・木曜日

10:00～12:00 / 14:00～16:00

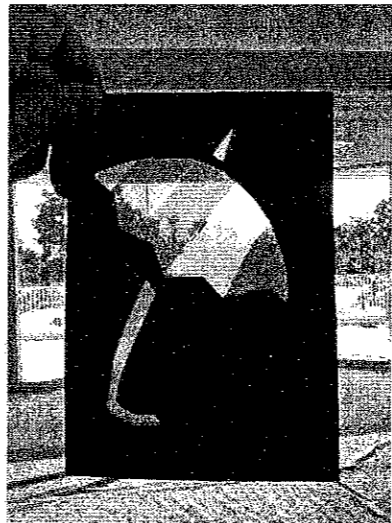
2階五味康祐オビオ展示室にて
メンテナンス(音出し)を行っており、ご自由に試聴いただけます。

スタンプショップとステンドグラス

石神井公園で毎年恒例の「照姫まつり」の日、当室ではちょっとしたワークショップを開催しています。今年は、スタンプづくりとステンドグラスづくりを行いました。

どちらもかんたんにつくれるもので、小さなお子さんからおとなまで、幅広い世代に楽しんでいただけます。子どもはもちろん、凝りだすと熱中してしまうのがおとなです。パパッとつくれる単純なものです。いろいろなアイデアが加わり、何やら難しそうな細工を黙々と施し、気付けば我が子をほったらかし：（！）なんてことにもなってしまうほどの集中力で、オリジナルティあふれる多彩な作品がたくさん生まれました。

ときどき、このようなワークショップを開催していますが、ものづくりという共通の時間を過ごすことで、なぜか見知らぬ人と親しげになつてしまふのが、不思議でありたのしくもあります。来年もきっと開催します。ぜひあそびにいらしてください。



公園の四季 ~花の散歩道~

6月に入りました。暑さが益々強まっていますが、公園のグラウンドは思い思いのスポーツで汗を流す方々でいつでも賑わっています。熱中症にはくれぐれも気をつけて、楽しく身体を動かしたいですね。

無理のない運動といえば、身近に思いつくのは「ウォーキング」ではないでしょうか。ふるさと文化館分室にいらっしゃる方のなかにも「散歩がてら駅からのんびり歩いて来ました」とおっしゃる方が数多くいらっしゃいます。分室までの道のりの中で必ずと言っていいほど皆さんが通るのが富士街道。この道沿いには、5月の半ばごろから白い小さな花卉をつけたジャスミンの花がたくさん咲きます。ジャスミンは香水や茶葉として用いられるように、とても華やかな香りがします。

6月に入ってからは花はほとんど見られなくなってしまいましたが、入れ替わりのように富士街道沿いの一部ではアジサイが見られるようになりました。公園内管理棟前のタイサンボクも大きな白い花を咲かせています。暑さや湿気がうっとおしく感じられる時期ですが、外に出て美しい花々に癒されてみてはいかがでしょうか。



公園のツツジ



タイサンボクの花

♪ 蓄音器コンサート

5月2日、「蓄音器とSPレコードによるコンサート」を実施しました。

分室オーディオルームにあるのは、五味康祐の遺品のオーディオで、1950年代から1970年代のものですが、今回は、それよりずっと以前の時代の、SPレコードと蓄音器によるコンサートです。

蓄音器は1925年頃のヴィクトローラVV4-40。御年90歳くらいの蓄音器です。当時、家が一軒買えたお値段といえます。電気ではなく手巻きですから、どこでもかけられて、エコでもありますが、一曲ずつ、グルグルとハンドルを回してゼンマイを巻いてやる必要があります。取扱は当室のオーディオ担当。一曲終わるとグルグルです。

SPレコードは、片面3分から5分ほどの「シート・プレイング・ディスク」。今でもレコードのことを「アルバム」と呼びますが、その語源の、革製アルバム式に作られたケースに収まって売られていました。

コンサート中盤では、お客様のなかから希望者に、「ゼンマイ回し体験」をお願いしました。「自分の家にも蓄音器があるから慣れていきますよ」とおっしゃるお客様も。

レコードを鳴らした時だけ会える、当時の名演奏家の数々。次の機会に、いかがですか。

今月の作品

松本零士著 宮川総一郎編著
『松本零士創作ノート』
(KKベストセラーズ 2013年)

昨年、画業60周年を迎えた練馬区ゆかりの漫画家・松本零士。77歳となる現在も活躍中です。「銀河鉄道999」「宇宙海賊キャプテンハーロック」「男おいどん」などの代表作で著名な松本零士の原点に迫った著作が今回ご紹介するこの一冊です。

自身で綴る小さい頃の思い出や、戦間期のパイロットだった父への想い、漫画・アニメの世界への憧れ、仲間と切磋琢磨した下宿時代など、これまでのまっすぐな生き方がすべて今の創作活動へとつながっていることがわかります。漫画作品と併せてお読みいただきたい著書です。

次回・展覧会

「ねりまの書

一書家・松井如流」(仮題)

平成27年10月3日(土)~12月23日(祝・水)

昭和25(1950)年から晩年まで練馬区関町北に住した、区ゆかりの書家・松井如流(1900-1988)は、昭和51(1976)年に勲三等瑞宝章を受章しました。本展では書家であり歌人でもあった松井の生涯を追い、また松井と同じく書歌両分野において名を馳せた人物にも焦点を当て、松井が辿りついた書の表現をご紹介します。

【発行・お問い合わせ】

練馬区立 石神井公園ふるさと文化館分室

(指定管理者：(公財)練馬区文化振興協会)

〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内

Tel:03-5372-2572 Fax:050-3352-2983

アクセス

◆西武池袋線石神井公園駅(東京メトロ有楽町線、副都心線直通)

・西口から徒歩15分(富士街道沿い)

・北口から西武バス「吉祥寺駅行き」約5分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分

◆西武新宿線上石神井駅

・北口から西武バス「成増町行き」約10分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分

